

## Ⅱ 平成 2 1 年度 事業実績

### (総括的事項)

厳しい財政環境の中、事業評価による事業の見直し、助成金の積極的な活用や関係機関・団体、サポーター等との連携・協働などにより、経費の節減や業務の効率的・効果的遂行に努めながら、平成 1 7 年 3 月に改定した「国際交流・協力推進指針」の活動基本方針である「国際理解の推進と次代を担う地球市民の育成」、「地域レベルの国際化の推進と環境づくり」及び「外国人の自立支援と共生の促進」のため、国際交流・協力の推進や多文化共生社会の形成に取り組んだ。

特にも、関係団体や在住外国人、ボランティアそして多くの県民の参加を得て「2009 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」をアイーナと県内 2 地域で開催するとともに、在住外国人の協力を得てラジオ放送により広く周知した。さらに、国際理解を推進するための講演会やフェアトレード等に関する国際理解セミナーを開催するなど、国際交流（理解）・協力について、積極的に推進した。

さらに、外国人相談対応を進めると共に日本語サポーターや多言語サポーターの育成・登録、活用を進めながら在住外国人の支援を図り、多文化共生社会の形成に向けて意欲的に取り組んだ。

また、平成 2 1 年度は、当協会が平成元年 10 月に設立されて 20 周年の節目の年であった。このため、20 周年記念式典を開催し、今後一層の飛躍を図る契機とした。

# (個別事業)

## 1 情報等の収集・提供

### (1) 国際交流・協力などに関する図書等の収集・提供

国内外の国際交流・協力、多文化共生などに関する図書・資料等を収集し、提供した。

- ・ 図書購入 445冊 (前年度796冊) (寄贈を含む。)
- ・ 蔵書等のデータベース登録数 6,935冊 (前年度 6,360冊)

### (2) 国際交流・協力などの情報の収集・提供

県内の国際交流・協力・多文化共生事業の情報を収集し、姉妹都市交流、中・高校生海外派遣、海外援助、在住外国人支援などの分野別にデータ入力を行った。

### (3) 国際交流情報紙「jiengo」の発行

県内外の国際交流・協力のイベント情報や外国人への生活情報などを掲載した国際交流情報紙「jiengo」を発行した。



(日本語版を隔月で、英語・中国語版を年4回発行したほか、ポルトガル語・韓国語・フィリピン語版を年2回発行し、Web掲載した。)

- ・ 日本語版 (隔月) 合計15,000部 (2,500部/回)
  - ・ 英語・中国語版 (年4回) 英語 合計5,800部 (1,450部/1回平均)  
中国語 合計6,300部 (1,575部/ " )
- (前年度 日本語・英語・中国語 隔月発行 合計30,960部)
- ・ ポルトガル語・韓国語・フィリピン語版  
Web掲載

### (4) 機関誌「いわて国際交流」の発行

国際交流・協力や多文化共生社会の形成を推進するための機関誌「いわて国際交流」を発行した (年1回)。



(日本語版のほか、英語・中国語・韓国語版の別冊をWebで発行。)

- ・ 日本語版 3,500部  
(前年度 3,500部) (年1回発行)
- ・ 多言語版 Web掲載  
(前年度 2,230部) (年1回発行)

### (5) ホームページによる情報提供

ホームページ <http://www.iwate-ia.or.jp/> で日本語・英語・中国語のほか、韓国語・フィリピン語・ポルトガル語により、情報の発信を行った。

- ・ ホームページの来訪者 56,100件  
(前年度 49,878件)



#### (6) 携帯電話ホームページサイトによる情報発信 【新規】

多言語（日本語版、中国語版、英語版）の携帯電話ホームページサイトを開設し、国際交流等の情報発信を開始した。

#### (7) メーリングリストの活用等による情報発信

メーリングリスト「いわてプラネット」を運営し、情報交換等の場を提供するとともに、メールマガジンでイベント情報や生活情報等を提供した。

- ・メーリングリスト登録者 319人 (前年度 284人)
- ・メールマガジン登録者 467人 (前年度 401人)

#### (8) 国別、地域別の情報や資料の提供

県内在住外国人の協力を得ながら、また、各国大使館等を通じて、国別、地域別の情報や資料を収集し、提供した。

- ・資料収集国数 190カ国 (前年度 190カ国)

#### (9) 留学情報等の収集・提供

留学に関する情報や書籍等を収集し、提供した。

- ・留学体験座談会参加者 46人 (前年度 14件)

## 2 調査研究

#### (1) 年報作成

前年度に実施した協会の事業や協会の経営状況について、年報を作成し、協会のホームページにおいて公開した。

- ・年報作成 平成 21 年 6 月 19 日

#### (2) 事業評価の実施

前年度に実施した協会の事業を対象に、企画専門推進委員会の意見を伺いながら、事業評価を実施するとともに、その結果をホームページにおいて公表した。

- ・企画推進専門委員会開催 平成 21 年 8 月 26 日

#### (3) 他県等における事業の調査

協会事業のより効率的・効果的な推進に資するため、(財)自治体国際化協会（CLAIR）が実施した「海外政策情報交流セミナー オーストラリアの多文化主義政策」に職員 1 名を派遣し、多文化共生の先進国であるオーストラリアの現状について視察した。

- ・派遣期間等 平成 21 年 11 月 28 日～12 月 5 日  
オーストラリア・シドニー

#### (4) 外国人相談の実施（再掲）

当協会へ寄せられた相談内容について分析し、問題・課題の背景について仮説を立て、今後の相談対応に役立てるよう整理をした。

#### (5) 災害時における外国人支援のための市町村連携の研究（再掲）

災害時における通訳者の派遣など、災害時の外国人支援のため当協会と市町村、関係団体等との連携の方策についての検討会を開催した。

- ・ 検討会開催 平成 21 年 12 月 18 日 参加者 17 人

#### (6) 在住外国人子育てサポート事業（再掲）

在住外国人が安心して子育てができる環境づくりのため、子育て中の在住外国人が親子で参加し情報交換する機会を提供すると共に、子育てに関する Q&A を作成し、情報の提供等を行った。

- ・ 在住外国人のための子育て Q&A（日本語・英語・中国語・韓国語 合冊）
- ・ 子育て問診会話集（日本語・英語・中国語・韓国語 併記）

平成 22 年 2 月発行 各 1, 000 部

### 3 団体等との連携・支援

#### (1) 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流・協力・多文化共生に関わっている団体相互の連絡調整及び情報交換等を行うため、関係団体連絡会議におけるネットワーク会議、意見交換会、国際交流・協力連携推進企画委員会を開催し、連携・協働を進めるとともに、ダイレクトリー（一覧）の改訂を行った。

- ア ネットワーク会議： 開催日 2 月 26 日（盛岡市）
  - ・ 参加者 33 団体 40 人（前年度 延べ 20 団体 25 人）
- イ 国際交流関係団体意見交換会： 開催日 2 月 16 日（釜石市）
  - ・ 参加者 5 団体 7 人（前年度 7 団体 12 人）
- ウ 関係団体国際交流・協力連携推進企画委員会： 開催日 5 月 20 日（盛岡市）
  - ・ 参加者 18 団体 26 人（前年度 延べ 36 団体 延べ 44 人）
- エ 国際交流関係団体連絡会議登録団体数 145 団体（前年度 143 団体）

分野	団体数
国際理解	21
国際協力	10
日本語教室	7
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	17
経済・観光	5
二カ国間交流	36
市町村・一般	36

## (2) 3県協会連携多文化共生社会セミナーの開催

東北版の多文化共生社会の形成を推進するため、岩手、宮城、福島の3県国際交流協会と市町村協会職員、国際交流団体のボランティアなどが一堂に会し、宮城県においてセミナーを開催した。

- ・開催日 7月1日～3日
- ・参加者（岩手県） 6団体 8人 （前年度 6団体 12人）



3県協会連携多文化共生社会セミナー

## (3) 国際交流関係団体への助成

岩手県国際交流関係団体連絡会議に加盟している団体等が実施する国際交流・協力・多文化共生活動や日本語教室の運営に対し、経費の一部を助成した。

- ・助成数 20件 助成総額 1,438千円
- （前年度 17件 1,218千円）

### 助成事業一覧

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
日ロ友好ふれあいコンサート	日ロ協会岩手県センター	10,000円 (809,500円)
一戸町国際交流協会設立10周年記念事業	一戸町国際交流協会	100,000円 (713,243円)
日中文化交流講座	盛岡市日中友好協会	100,000円 (297,467円)
ロシア語・ユーラシア文化の体験事業	日本ユーラシア協会岩手県連合会	96,000円 (222,938円)
オーストラリア高校生受入事業	藤沢町国際交流協会	95,000円 (493,310円)
国際交流・協力に係る支援を図る事業 長春大学光華学院生の招へい	NPO法人 HARP	24,000円 (111,879円)
岩手ひらいずみ通訳・ガイドの会 公開講座	岩手ひらいずみ通訳・ガイドの会	35,000円 (77,670円)
地域における国際理解～わが町で活躍する外国人をお招きして～ 映画 恋するトマト 上映会	花のまち友好協会	100,000円 (210,304円)
イングリッシュキャンプ	釜石市国際交流協会	51,000円 (133,421円)
平成21年度岩手県国際交流活動研修会～第6回岩手県高校ユネスコ研究大会～	岩手県ユネスコ協会連盟	68,000円 (379,320円)

多文化共生事業「お芝居デリバリーまりまり」公演	金ヶ崎町国際交流協会	100,000円 (251,062円)
映画上映「地球のステージ ありがとうの物語」	日本ユニセフ協会岩手県支部	100,000円 (399,404円)
「外国人市民を講師とした講座『世界の文化を知ろう』」	奥州市国際交流協会	30,000円 (81,138円)
2009 スノーフェスティバル イン雫石	雫石町国際交流協会	53,000円 (133,945円)
「チャリティコンサート」と「世界の子どもの人権」・「ジョー・オダネル原爆」	(社) アムネスティ・インターナショナル日本盛岡(48)グループ	100,000円 (290,584円)
北上市・コンコード市姉妹都市提携35周年記念「市民パーティ」～キャンドルライトでHappy・アニューバースリー・ナイト～	北上市国際交流ルーム	100,000円 (633,000円)
世界の踊り、DANCE、舞い～神々との対話～ “人々の魂をゆさぶる舞い”	イーはとーぶ・ミュージック・コミュニケーションズ (IMC)	100,000円 (433,930円)
日本語交流室「じょい」日本語指導	日本語交流室「じょい」	30,000円 (82,000円)
NIKK 日本語教室	日本語サポートクラブ NIKK	26,000円 (61,500円)
日本語教室	川崎 21 世紀国際交流クラブ	30,000円 (60,000円)

#### (4) NPO・ボランティア支援・相談

国際交流・協力・多文化共生に携わる NPO やボランティアが円滑な国際交流・協力活動を行うことができるよう、情報提供など支援・相談を行った。

・相談 11件 情報提供 44件 資料配布 100部  
(前年度 20件 36件 100部)

後援・共催

国際交流団体等が実施する各種行事を後援・共催し、国際理解の普及啓発や国際交流の拡大に努めた。

・後援・共催数 37件 (訪日外国人誘客受入研修など)  
(前年度 35件)

## 4 国際交流 (理解)・協力

### (1) 国際理解講演会の開催

国際交流や協力、多文化共生について考える契機とするため、麗澤大学比較文明文化研究センター客員教授の服部英二氏による講演を開催した。

・開催回数 1回 参加者 延べ 104人  
(前年度 4回 延べ 771人)

開催日 平成 22 年 2 月 28 日

開催場所 アイーナ 8 階 会議室 803

演題 文化の多様性と異文化間の対話 ～多文化共生社会に向けて～



## (2) 国際理解セミナーの開催

「フェアトレード・コミュニティ in いわて」プロジェクト

ア 「2009 世界フェアトレードデイ in いわて」の開催

関係団体との連携のもとに、広くフェアトレードについて県民に周知を図るため、世界フェアトレードデイに合わせ、アイーナを会場にイベントを開催した。

・開催日 5月10日 参加者 延べ589人（前年度 延べ641人）



2009 世界フェアトレードデイ in いわて

イ フェアトレード・セミナーの開催

国際協力の裾野を拡大し、フェアトレードを推進するため、年間を通じてフェアトレードに関するセミナーを開催した。

・開催日 6月13日～2月13日  
・参加者数 延べ224人

ウ 国内スタディツアーの実施

フェアトレード団体との連携により、国内スタディツアーを実施した。

・視察先 フェアトレード団体「ネパリ・バザーロ」（神奈川県）他、  
都内フェアトレード団体  
・参加者 6人



### (3) 国際理解ワークショップの開催

ア 「いわて版国際理解ハンドブック」の活用

「いわて版国際理解ハンドブック」（平成19年度作成）の活用の拡大を図るため、補充教材を作成し、「就学支援ハンドブック」（平成20年度作成）の紹介とともに、ワークショップを開催した。

- ・開催回数 10回 参加者 延べ195人  
（前年度 11回 延べ333人）

イ 国際理解コーディネーターの育成

教員や各地域で活動する実践者を国際理解コーディネーターとして育成するため、国際理解に必要なコミュニケーション手法やファシリテーターの技術をテーマにした研修を行った。

- ・開催回数 3回 参加者 延べ56人

### (4) 国際理解ネットワークの構築

県内の国際理解教育を推進するため、国際理解教育団体やJICAと連携し、国際理解教育に関する情報提供の充実を図りながら、国際理解教育の関係者とネットワークの構築を進めた。

### (5) いわて国際化人材活用ネットワーク

岩手の国際化を推進するため、多様な分野の人材を登録し、国際理解講座や料理講座、通訳・翻訳などに登録者の経験や能力の活用を図った。

- ・登録者 個人190人 団体6、依頼件数 53件、実施件数47件  
（前年度 180人 6 72件 71件）

### (6) 外国文化紹介講師派遣の実施（別紙1）

地域住民の外国文化に対する理解の促進を図るため、本県が招致している海外研修員や国際交流員、「いわて留学生大使」等を県内で開催される外国文化理解に関する行事等に行先として派遣した。

- ・開催箇所 25か所 参加者 1,738人  
（前年度 40か所 2,083人）



### (7) 韓国語・中国語講座の開設

「韓国語講座」は、日韓文化交流基金が招聘する韓国人大学生のホームステイ受入家庭を対象に開催した。また、「中国語講座」は岩手県中国人会との共催により、中国語の語学学習を通じて中国の文化についての理解を深める講座を開催した。

- ・韓国語講座 計3回 参加者 延べ29人  
（前年度 12回 延べ149人）
- ・中国語講座 計10回 参加者 延べ77人  
（前年度 30回 延べ284人）



(8) 外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催 (別紙2)

県内在住の外国人と県民及び外国人同士が文化、スポーツ、各国の行事などを通じて気軽に交流する場として、留学生や国際交流員、外国語指導助手等を講師に迎え開催した。

・開催回数 16回 参加者 延べ553人

[アイーナ(12回)のほか、奥州市江刺区、釜石市、八幡平市、軽米町で開催]

(前年度 16回 延べ464人

[アイーナ(12回)のほか、一関市花泉町、二戸市、矢巾町、山田町で開催])



ちゃっとランド

(9) 2009ワン・ワールド・フェスタ in いわての開催

ア 国際交流センターにおける開催

国際交流団体や在住外国人、ボランティアと協働・連携し、チャリティコンサート、「世界はともだち オン・ステージ」、平泉旅人(ウォーク)、世界を知るサロン、ミステリークッキング、ちゃっとランド、フォトコンテスト、フェアトレードカフェ、国際交流団体の活動展示、アムネスティ写真展、ユニセフ販売を開催した。

・開催日 10月17日 参加者 910人、ボランティア31人

会場 アイーナ

(前年度 1,289人

51人)



イ 地域における開催

国際交流・協力・多文化共生の啓発普及を図るため、関係団体と連携・協働して県内2地域で開催した。

開催地（協働団体）	開催日	参加者
一関市川崎（川崎 21 世紀国際交流クラブ他）	11 月 15 日	280 人
洋野町（洋野町国際交流協会他）	12 月 6 日	280 人

ウ ラジオ番組による紹介

各地域のフェスティバルの紹介に合わせて、外国人による自国の文化紹介、多言語による情報などを広く県民に周知を図るため、ラジオ番組放送した。

放送局	放送日
FMいわて	7 月 1 日、8 月 5 日、9 月 2 日、10 月 7 日
I B C 岩手放送	3 月 21 日

(10) ホストファミリーの登録・活用

ホームステイの受入れによる国際交流の推進を図るため、ホストファミリーの登録とともに、市町村国際交流協会や団体と連携し、韓国大学生訪日研修団の受入れなど活動の機会を提供した。

登録者	1 2 5 人	活用 2 9 件
（前年度）	1 1 7 人	3 7 件）



(11) 協会事業協力サポーターの登録・育成と活用

国際交流センターの利用者へのサービス提供を円滑にするため、協会事業協力サポーターを登録し、窓口業務に従事していただくとともに、サポーターによる企画事業、研修会などを行った。

登録者	2 0 人	活動日数	延べ 4 2 5 日
（前年度）	2 4 人		延べ 5 8 5 日）

(12) 海外研修員等の受入れ

県が受け入れる海外研修員の来県手続、生活費等の支給、生活上の助言・指導等を行った。

- 海外自治体職員研修員 2 人（前年度 1 人）

出身国・職業	研修先	研修分野	受入期間
中国・大連市対外貿易経済合作局職員	岩手県商工労働観光部 産業経済交流課	経済交流	4 月
中国・大連市科学技術協会	岩手県地域振興部 NPO・文化 国際課	経済交流	5 月～ 3 月

- 海外技術修員 2 人（前年度 0 人）

出身国	研修先	研修内容	受入期間
パラグアイ	岩手県畜産研究所	畜産（養豚）	5 月～ 12 月
アルゼンチン	岩手県立宮古高等技術専門校	自動車整備	8 月～ 3 月

### (13) 草の根国際協力サポート事業

賛助会費を通じ国際協力活動を支援する事業として、国際協力を行っている県内の団体に対して、賛助会費の10%相当額を助成した。

- ・支援先団体 岩手・モンゴル友好協会 助成金 126千円  
(前年度 NPO法人日本山西省友好協議会 140千円)

### (14) インターンシップ・プログラム

大学生の協会の活動への理解及び就職意識の醸成に資するため、インターンシップ学生を受け入れた。

- ・受入期間 9月19日～23日 受入者数 1人(盛岡大学)(前年度 1人)

## 5 在住外国人の自立支援・共生

### (1) 外国人相談の実施

ア 外国人相談窓口の設置及び専門相談員の配置

在住外国人の幅広い相談に対応するため、中国語での対応が可能な専門相談員を配置し、外国人相談に対応した。

- ・相談件数 257件(前年度 253件)(イ、ウの相談件数を含む)  
(相談内容の内訳 保健・医療25件、生活77件、日本語学習80件、行政手続56件、児童・教育19件)

イ 外国人相談日の開設

岩手県行政書士会との連携により定期的な相談日(毎月第3水曜日)を設けた。

- ・開設回数 12回 相談件数 10件  
(前年度 12回 14件)

ウ 移動外国人相談の実施

岩手県行政書士会との連携により、地域において移動外国人相談を実施した。

- ・開設回数 6回(宮古市、一関市、奥州市、陸前高田市、二戸市、久慈市)  
(前年度 6回)
- ・相談件数 6件(前年度12件)

### (2) 在住外国人ネットワークの形成

在住外国人ネットワーク事業のこれまでの実施地域及び団体から多文化共生活動の企画を公募し、助成した。

- ・実施地域 6地域・団体

開催地・団体	開催日	実施内容	助成額
岩手フィリピン会	6月14日	独立記念日イベント、歌唱大会等	40,360円
一関市	12月13日	クリスマス交流会	50,000円
二戸市	12月20日	国際交流餅つき大会	35,000円
花巻市	12月20日	交流会	16,274円
金ケ崎町	2月21日	春節会	14,874円
宮古市	3月13日	多国籍料理ポットラックパーティー	30,000円

**(3) 多文化共生アクション・プロジェクト**

本県における多文化共生の取組みを推進するため、在住外国人への日本語学習支援及び日本社会に関する学習支援について在住外国人の支援を行う実践者及び在住外国人を構成員とし、検討会を行った。

- ・検討会 3回 参加者 延べ32人

**(4) 日本語サポーターの登録・育成と活用**

ア 日本語サポーターの登録・活用

在住外国人の日本語学習ニーズに対応するため、日本語サポーターを登録し、活用を図った。

- ・登録者 139人 活用 48件  
(前年度 121人 41件)

イ 日本語サポーターの育成

(ア) 地域研修

地域における日本語教室の開設を目的とし、日本語教授法や異文化理解などを学習する研修会を開催した。 会場：八幡平市

- ・開催回数 16回  
参加者 18人 (延べ145人)  
(前年度2地域 延べ21回 16人 (延べ125人))  
会場：雫石町、金ヶ崎町)

(イ) 実践者研修

日本語サポーターのブラッシュアップを図る機会として、実践者研修を開催した。

会場：アイーナ

- ・開催回数 14回 参加者 17人 (延べ144人)  
(前年度 4回 48人 (延べ70人))  
会場：二戸市、奥州市)



**(5) 多言語サポーターの登録・育成と活用**

ア 多言語サポーターの登録・活用

在住外国人が岩手で快適に生活できるよう、災害時又は医療受診時における通訳等の支援、学校における外国人児童生徒等に対する通訳等や生活上の諸手続きに関する通訳等の支援を行う多言語サポーターを登録し、活用を図った。

- ・登録者 92人 活用 43件  
(前年度 109人 58件)

イ 多言語サポーターの育成

多言語サポーターが活動する際に必要とされる知識の習得、技術や能力の向上を図るため研修会を開催した。

会場：アイーナ

- ・開催回数 2回 参加者 延べ58人  
(前年度 4回 延べ133人)



## (6) 在住外国人のためのハンドブックなどの情報提供

新たに、県の委託事業として在住外国人が県内で生活する上で必要な制度や相談窓口の情報を総合的にとりまとめた「外国人住民のための支援インフォメーションガイド」を日本語、英語、中国語の合冊で作成した。

- ・作成部数 3, 000部 (日本語、英語、中国語)

## (7) 私費外国人留学生支援

私費外国人留学生に月額4万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、協会の活動を始め、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職を支援するためのフォーラム等への積極的な参加を得た。



- ・奨学金受給者 10人 国際交流等活動実績 延べ161件  
(前年度 10人 延べ217件)

## (8) 災害時等における外国人対応の市町村連携等

災害時における通訳者の派遣など、災害時の外国人支援のための市町村と当協会等との連携の方策についての検討会を開催した。

- ・検討会開催 平成21年12月18日 参加者 17人  
(前年度 3回 延べ43人)

## (9) 在住外国人子育てサポート事業

在住外国人が安心して子育てができる環境づくりのため、子育てに関する相談に対応する「多言語子育てアドバイザー」を配置するとともに、子育て中の在住外国人が親子で参加し情報交換する機会として「多文化子育てサロン」の開催や「在住外国人のための子育てQ&A」、「子育て問診会話集」を作成し、多言語による情報の提供等を行った。

### ア 多言語子育てアドバイザーの配置

アドバイザー 5人 (中国語、韓国語、フィリピン語)

- ・アドバイザーの派遣 6件

### イ 多文化子育てサロンの開催

- ・開催回数 12回 参加者 延べ87人

### ウ 在住外国人のための子育てQ&A及び子育て問診会話集の作成

- ・在住外国人のための子育てQ&A (日本語・英語・中国語・韓国語 合冊)
- ・子育て問診会話集 (日本語・英語・中国語・韓国語 併記)

平成22年2月発行 各1,000部



多文化子育てサロン



在住外国人のための子育てQ&A

子育て問診会話集

## 6 国際交流センターの管理運営

県から公募により委託を受け、本県の国際交流・協力の拠点である「国際交流センター」を管理・運営し、国際交流団体、ボランティア、在住外国人、県民などを対象に様々な国際交流・協力・多文化共生の活動を行った。

・来館者数	181,636人	(前年度182,323人)
・インターネット利用者数	11,714人	(前年度10,475人)

## 7 協会設立20周年記念事業 【新規】

ア 平成元年10月の協会設立から20周年の節目を迎えることから、一層の飛躍を期するため、記念式典、記念講演、交流会を開催した。

・記念式典（アイーナ8階 804会議室）

岩手県知事感謝状

石渡隆司 氏

（元岩手県国際交流協会理事・企画委員長、  
盛岡YMCA理事長、岩手ラインラント交流協会会長）

岩手県国際交流協会理事長表彰状

田口絢子 氏

いわて国際理解教育研究会（代表 尾中夏美 氏）  
奥州市国際交流協会（会長 佐藤 剛 氏）  
国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ（会長 柴田和子 氏）  
日本語交流室「じょい」（代表 大畑佳代子 氏）  
盛岡白百合学園高等学校（校長 荻原礼子 氏）  
盛岡中央高等学校（校長 富澤正一 氏）

岩手県国際交流協会理事長感謝状

（出捐協力団体等）

石田家様

㈱岩手銀行（代表取締役頭取 高橋真裕 氏）  
㈱北日本銀行（代表取締役頭取 佐藤安紀 氏）  
㈱東北銀行（代表取締役頭取 浅沼 新 氏）  
㈱和かな（代表取締役社長 坂下陽市 氏）

（賛助会員）

高田 章 氏

藤村健三 氏

（事業協力団体）

岩手県行政書士会（会長 中澤弘文 氏）

A. Y. C. L

日本語教室「いっぽいっぽ」（代表 青山純子 氏）

いわて\*多文化子どもの教室 むつみっこくらぶ

（代表 村井好子 氏）

オーシャンズ宮古国際交流倶楽部

（代表 佐々木匡人 氏）

川崎21世紀国際交流クラブ（代表 佐藤勇三 氏）

日本語サポートクラブ NIKK（代表 村井浩和 氏）

はなまき日本語サポーターズ「ステップ」

（代表 穂高マツヨ 氏）

ゆうの会（代表 熱海アイ子 氏）

（事業協力個人）

山崎友子 氏（岩手大学教育学部教授）

松岡洋子 氏（岩手大学国際交流センター准教授）

千葉喜秋 氏（元岩手県国際交流協会企画委員、  
機関誌アドバイザー）

大高久枝 氏（元機関誌編集長）

小原史湖 氏（ ” ）

木村ゆき子 氏（ ” ）

鷹嘴洋子 氏（ ” ）

長岡美和子 氏（ ” ）

林 裕 氏（ ” ）

村井好子 氏（ ” ）

（歴代役職員）

智田恵子 氏（元岩手県国際交流協会理事、評議員）

軽石陽子 氏（元岩手県国際交流協会スタッフ）

・ 記念講演

講師 NGO 大地を守る会 会長 藤田 和芳 氏

演題 「食を通じて世界が見える」

・ 交流会（アイーナ 8 階 803 会議室）

参加者数 130人



イ 協会設立以来の20年の歩みを収録した記念誌を発行した。

・ 発行部数 1,500部

## 平成21年度外国文化紹介講師派遣事業 派遣状況

No.	派遣日	申請団体	実施会場	派遣講師	事業内容	参加者(人)
1	6月3日	県立花巻南高等学校	県立花巻南高等学校	CIR ジェニファー・ウー	国際理解	70
2	7月7日	専修大学北上高等学校	専修大学北上高等学校	CIR ジェニファー・ウー CIR 呉 光玉 CIR ブライアン・オルソン	国際理解	145
3	7月14日	花巻市立花巻中学校	花巻市立花巻中学校	CIR ジェニファー・ウー	国際理解	170
4	7月24日	I.V.I.S 世界アルペン記念 いわてボランティア通訳の会	アイーナ6階団体活動室2	CIR ブライアン・オルソン	語学講座	5
5	7月24日	(財)花巻国際交流協会	花巻市 なはんプラザ	外国人相談補助員 鄭大山	国際理解	20
6	7月27日	(財)花巻国際交流協会	花巻市 なはんプラザ	CIR ジェニファー・ウー	国際理解	10
7	8月15日	金ケ崎町国際交流協会	金ケ崎町民菜園パーク	CIR 呉 光玉	料理講座	22
8	9月1日	盛岡老人大学上田分校	もりおか老人大学上田分校	CIR 呉 光玉	国際理解	27
9	9月30日	県立花巻南高等学校	県立花巻南高等学校	CIR アマンダ・クリプス	国際理解	61
10	10月20日	盛岡市立山王小学校	盛岡市立山王小学校 さくらホール	CIR ブライアン・オルソン	国際理解	180
11	10月28日	岩手県高等学校教育研究会 英語部会花巻支部	県立花巻南高等学校	CIR アマンダ・クリプス	語学講座	87
12	11月18日	盛岡市立杜陵小学校	盛岡市立杜陵小学校	岩手大学留学生 ジャニル・ ティニスタノバ // マムン・モハマッド	国際理解	20
13	11月20日	自治労奥州市職員労働組合 女性部	奥州市 江刺生涯学習センター	CIR アマンダ・クリプス	国際理解	40
14	11月20日	盛岡市立仁王小学校	盛岡市立仁王小学校 やまなしホール	CIR 呉 光玉 CIR ブライアン・オルソン	国際理解	70
15	11月28日	県立花巻南高等学校	県立花巻南高等学校	CIR 呉 光玉	料理講座	36
16	12月6日	花のまち交流協会	一関市花泉駅前 コミュニティセンター	CIR ブライアン・オルソン	国際理解	30
17	12月12日	(財)花巻国際交流協会	花巻市 なはんプラザ	CIR 呉 光玉 CIR アマンダ・クリプス	国際理解	113
18	12月13日	川崎21世紀国際交流クラブ	一関市立川崎公民館	いわて留学生大使 セツ・イン CIR アマンダ・クリプス CIR ブライアン・オルソン	国際理解	50
19	12月20日	子育てサポートセンター	アイーナ6階団体活動室3	CIR ブライアン・オルソン	国際理解	180
20	12月22日	金ケ崎国際交流協会	金ケ崎町三ケ尻地区 生涯教育センター	CIR 呉 光玉	料理講座	22
21	12月22日	私立わかば保育園	私立わかば保育園	CIR ブライアン・オルソン	国際理解	120
22	1月12日	金ケ崎町国際交流協会	金ケ崎町三ケ尻地区 生涯教育センター	CIR アマンダ・クリプス	国際理解	26
23	1月23日	釜石市教育委員会 生涯学習スポーツ課	釜石市 青葉ビル	CIR 呉 光玉	国際理解	22
24	1月21日	滝沢村市民協働部学習支援 課	滝沢村役場	CIR 呉光玉 CIR ブライアン・オルソン CIR アマンダ・クリプス	国際理解	32
25	2月8日	盛岡市立仁王小学校	盛岡市立仁王小学校 やまなしホール	CIR 呉光玉 CIR アマンダ・クリプス	国際理解	60
26	2月17日	盛岡市立仁王小学校	盛岡市立仁王小学校 やまなしホール	CIR 呉光玉 CIR アマンダ・クリプス	国際理解	60
27	2月25日	盛岡市立仁王小学校	盛岡市立仁王小学校 やまなしホール	CIR 呉光玉 CIR アマンダ・クリプス	国際理解	60
27件			25箇所			1,738

## 別紙 2

## 平成 21 年度外国人との交流会『ちやっとランド』開催状況

回数	年	月日	テーマ	参加者数	開催地
1	2009	4/25	Disprutemos del Peru! ペルーを楽しみましょう!	18 人	アイーナ
2		5/30	オーストラリアを楽しもう!	37 人	アイーナ
3		6/27	母なる大地 バングラデシュ	14 人	アイーナ
4		7/18	ブッダが生まれた国 ネパール	22 人	アイーナ
5		8/22	親子で参加 キッズカーニバル	47 人	アイーナ
6		9/19	シンガポールってどんな国?	22 人	アイーナ
7		10/17	日本の文化を楽しもう!	23 人	アイーナ
8		10/25	おいしい!楽しい!国際交流クッキング ～肉団子のもち米蒸しとスープを作りに挑戦～	24 人	軽米町
9		11/8	親子で参加 キッズカーニバル	42 人	奥州市 江刺区
10		11/21	ブエノスディアス!アルゼンチン& パラグアイの日系人社会の生活	31 人	アイーナ
11		12/19	クリスマスパーティー	24 人	釜石市
12		12/19	国際交流クリスマスパーティー	33 人	八幡平市
13		12/23	JOYTALK Christmas クリスマスを楽しもう!	62 人	アイーナ
14	2010	1/16	ちやっとランド×留学体験座談会	46 人	アイーナ
15		2/14	Chinese New Year!! 春節を体験しよう	44 人	アイーナ
16		3/13	Guten Tag! ドイツってどんな国?	64 人	アイーナ
合 計				553 人	

## [ま と め]

### 1 情報等の収集・提供

- (1) **国際交流・協力・多文化共生に関する図書等**を収集し、県民の利用に供するとともに、アイーナの資料検索・貸出サービスに対応できるように蔵書データの入力・整備を行った。  
今後とも、各分野の図書等の更なる収集・提供に努める必要がある。
- (2) 県内の**国際交流・協力・多文化共生事業の情報**を収集し、分野別にデータ入力・整備を行い、一部をホームページで公開した。  
今後とも、各分野の情報の更なる収集・提供に努め、データの整理などを図る必要がある。
- (3) **国際交流情報紙**は、日本語版を隔月で、英語・中国語版を年4回発行したほか、ポルトガル語・韓国語・フィリピン語版を年2回 Web 発行し、生活情報に加え、多文化共生に関する啓発普及記事など内容を充実するとともに、より親しまれる内容とするよう努めた。  
今後とも、読者のニーズの把握やタイムリーな情報の掲載に努め、より多くの県民及び在住外国人に親しまれるよう努める必要がある。
- (4) **機関誌**は、日本語版のほか、英語、中国語及び韓国語版を発行し、特集にはスポーツを通じた国際交流と協会設立 20 周年について掲載した。  
今後とも、内容の充実した紙面づくりに努める必要がある。
- (5) **ホームページ**は、日本語、英語、中国語でのページのほか、韓国語、フィリピン語、ポルトガル語によるコンテンツ等を掲載し、情報の発信を行った。  
今後とも、情報の更新を適時行い、充実した内容となるよう努める必要がある。
- (6) **携帯電話ホームページサイト**は、新たに、日本語、英語、中国語での携帯電話ホームページサイトを開設し、国際交流等の情報発信を行える環境を整えた。  
今後は、携帯電話ホームページサイトでの情報発信を進め、災害時になどにおいても情報提供できるよう周知を図る必要がある。
- (7) **メーリングリスト「いわてプラネット」**は、メーリングリスト登録者間での情報交換等の場を提供した。また、メールマガジンによりイベント情報や生活情報等の提供も行った。  
今後とも、メーリングリスト・メールマガジン共に登録者を増やし、タイムリーな情報提供が図れるよう努める必要がある。
- (8) 国別、地域別の情報や資料を収集し、県民の利用に供して情報提供を行った。  
今後とも、資料等の収集・提供に努める必要がある。
- (9) 留学に関する情報や書籍を収集し、県民の利用に供して情報提供を行った。  
今後とも、資料等の収集・提供に努める必要がある。

### 2 調査研究

- (1) **年報作成**は、平成 20 年度に実施した協会の事業や協会の経営状況についてまとめ、協会のホームページにおいて公開した。  
今後とも、県民への活動の理解を進めるため公開していく必要がある。
- (2) **事業評価**は、企画推進専門委員会の意見を伺いながら、平成 20 年度に実施した 22 事業について評価を実施した。その結果、1 事業を廃止、3 事業は縮小、15 事業は継続、3 事業はその他（期間終了、分割、事業名変更）とした。  
今後とも、適切な評価に努め、評価結果を事業に反映していく必要がある。
- (3) **他県等における事業の調査**は、(財)自治体国際化協会が実施した「海外政策情報交流

セミナー「オーストラリアの多文化主義政策」に職員1名を派遣し、多文化共生の先進国であるオーストラリアの現状について視察を行い、協会事業のより効率的・効果的な推進の参考とした。

今後とも、他県等の先進的な取り組みについて調査等を行い、協会事業の効率・効果を高める必要がある。

- (4) **外国人相談の実施**は、当協会へ寄せられた相談内容について分析し、今後の相談対応に役立てるよう整理をした。

今後とも、効果的な外国人相談対応を進めるため相談内容の分析を進めていく必要がある。

- (5) **災害時における外国人支援のための市町村連携の研究**は、災害時の外国人支援のため当協会と市町村、関係団体等との連携の方策について検討会を開催した。

今後、災害時における対応を図れるよう防災訓練等への参加などを進めることとし、本事業は21年度で終了することとする。

- (6) **外国人子育てサポート事業**は、在住外国人が安心して子育てができる環境づくりのため、多言語での子育てに関するQ&A等を作成し、配布した。

今後は、昨年度に作成したハンドブックと併せて情報提供を進めながら、相談対応を進めることとし、本事業は21年度で終了することとする。

### 3 団体等との連携・支援

- (1) **国際交流関係団体連絡会議**は、市町村協会職員等研修会と併せて**関係団体国際交流・協力連携推進企画委員会**と**ネットワーク会議**を盛岡市で開催したほか、釜石市で**意見交換会**を開催した。また、ダイレクトリー（一覧）の改訂を行い、ホームページで公開をした。

今後とも、各関係団体間の意見・情報交換を図り、関係団体が連携し本県の国際交流・協力・多文化共生を推進するため会議等を開催する必要がある。

- (2) 東北版の多文化共生を考え、市町村協会や関係団体の連携強化を目的に、福島、宮城、岩手の**3県協会の連携による多文化共生セミナー**を宮城県で開催した。

このセミナーは、3年間で終了する予定であったが、フォローアップが必要であることからアクションプランの検証を行う研修を引き続き開催する必要がある。

- (3) **国際交流関係団体への助成**は、団体等が申請しやすい制度とするよう、有識者による審査会を年2回開催し、申請回数を増やしたことにより、助成件数、助成総額は前年度を上回った。

今後とも、助成制度のPRに努めるとともに、日本語教室の助成割合を見直すなど、ニーズに対応した効率的・効果的な運用を図っていく必要がある。

- (4) **NPO・ボランティア支援・相談**は、メーリングリスト等を通じて情報提供などに努めた。

今後とも、ホームページやメーリングリスト等を通じて情報提供を行う必要がある。

### 4 国際交流（理解）・協力

- (1) **国際理解講演会**は、**文化の多様性と異文化間の対話**についての講演を実施した。国際交流や国際協力、多文化共生について考えるうえで示唆に富んだ内容であったと参加者から高い評価を得た。

今後は、単発の講演会ではなく当県の国際交流や国際協力、多文化共生について体系的に学ぶ連続セミナーを実施することとする。

(2) **国際理解セミナー**は、「フェアトレード・コミュニティ in いわて」プロジェクトとして、5月10日における「2009世界フェアトレードデイ in いわて」の開催、年間を通じたフェアトレード・セミナーの開催や国内スタディツアーを実施し、広くフェアトレードについて県民の理解を進め、国際協力の裾野の拡大を図った。

今後引き続き、「フェアトレード・コミュニティ in いわて」プロジェクトを JICA との共催により行い、環境学習交流センターや福祉団体との連携により活動の裾野を広げていく必要がある。

(3) **国際理解ワークショップの開催**は、平成19年度に作成した「いわて国際理解ハンドブック」の活用の拡大を図るため、補充教材を作成し、ワークショップを開催すると共に国際理解コーディネーターの育成を行った。

今後とも、学校等からの依頼に応じてワークショップを開催すると共に、環境学習交流センターと連携し、ESD（持続可能な開発のための教育）の一環として、国際理解のプログラムの提供を進める必要がある。

(4) **国際理解ネットワーク**については、県内の国際理解教育を推進するために、国際理解教育団体や JICA と連携し、ネットワークの構築を進めた。

今後とも、情報交換や国際理解ハンドブックの改正を進めるためにネットワークの活用を進める必要がある。

(5) **いわて国際化人材活用ネットワーク**は、制度の周知などにより、人材の登録者は前年度より増加したが、依頼・実施件数はやや減った。

今後とも、通訳や翻訳、在住外国人の紹介などの依頼に対応するため、登録情報の更新と登録者の充実を図りながら、活用の拡大を図っていく必要がある。

(6) **外国文化紹介講師派遣**は、派遣する講師（県国際交流員、いわて留学生大使など）の国籍が限られていることからニーズに対応できずに、開催回数及び参加者とも前年度より減った。

今後は、派遣する講師を増やし、公民館や学校、地域の団体等などへの周知を行い、活用に努める必要がある。

(7) **韓国語・中国語講座**は、両講座とも、前年度より回数を減らしたため、参加者が減少した。両講座とも受講者の満足度等は高く、語学の習得・異文化理解の向上が図られた。

今後においては、中国語講座は岩手県中国人会が自主的に開催していることから、21年度で終了することとする。また、韓国語講座は日韓文化交流基金で招致する韓国人青年を受け入れるホストファミリーを対象としたミニ韓国語講座を実施することとする。

(8) **外国人との交流会「ちゃっとランド」**は、アイーナでの開催の他、地域での開催も引き続き行ったことから、参加者が前年度より増え、広く県民が参加できる機会を提供した。

今後とも、国際交流を気軽に体験できる場として内容の充実を図っていく必要がある。

(9) **2009ワン・ワールド・フェスタ in いわて**は、アイーナ・国際交流センターでの開催の他に、県内2地域でも各市町村協会が中心となり、関係団体と連携・協働して開催し、多くの県民に参加していただくことができた。

また、ラジオ番組を活用し、外国人による自国文化紹介や多言語による情報提供や、外国人によるディスカッションを行い、当県の多文化共生社会の現状について、広く県民に周知を図った。

この開催により、県民の国際交流・協力・多文化共生についての推進を図るとともに、国際交流センターや協会のPRにも大いに寄与した。

今後とも、企画段階から関係団体やボランティアの参画を得て、連携・協働の輪の広が

りやPRに努めるとともに、多くの県民が参加しやすく、そして親しまれるようなイベントにしていく必要がある。

- (10) **ホストファミリー**は、韓国教員訪日研修団などのホームステイで交流を深めた。

市町村協会と連携して体制を強化するとともに、受入機会を提供していく必要がある。

- (11) **協会事業協力サポーター**は、窓口業務などに加えて、企画事業なども行われ幅広い活動を行った。

今後は、国際交流センター運営サポーターと名称を改め、センター利用者へのサービス向上を進めるとともに、協会イベント等で活躍する場を提供する必要がある。

- (12) **海外研修員の受入れ**は、県からの委託を受け、中国・大連市からの海外自治体職員研修員、パラグアイ、アルゼンチンから各1名の海外技術研修員の受入れ業務を行った。

- (13) **草の根国際協力サポート事業**は、賛助会費の10%相当額を「岩手・モンゴル友好協会」に助成した。

- (14) **インターンシップ・プログラム**は、盛岡大学の学生1名を5日間受け入れた。

## 5 在住外国人の自立支援・共生

- (1) **外国人相談**は、外国人相談窓口を設置し、中国語での対応が可能な**専門相談員**を引き続き配置し、対応するとともに、これまでに寄せられた相談内容の分析を進めた。

相談内容は、生活全般が多いものの、行政手続、保健・医療など多岐にわたっている。

**外国人相談日**は、市町村外国人登録窓口などでの案内チラシの配布等でPRに努めたが、相談件数が若干減少した。

**移動外国人相談**は、行政書士会などの専門機関との連携により、県内6地域で開催したが、相談件数は前年度より減った。

相談件数全体は前年度とほぼ同数であったが、潜在するニーズが、実際の相談に至っていないと考えられることから、今後とも、PRに努め、行政書士会等の関係機関との協力の下に対応していくとともに、巡回相談など、積極的に対応を進めて行く必要がある。

- (2) **在住外国人ネットワークの形成**は、地域や国・言語別のネットワーク形成を目的とし、これまでの実施団体から多文化共生活動の企画を公募し、助成を行った。

今後は、国・言語別でのネットワーク形成を支援するため、活動支援費を補助するなどし、適切な支援を行っていく必要がある。

- (3) **多文化共生アクション・プロジェクト**は、本県における多文化共生の取組みを推進するため、在住外国人への日本語学習支援及び日本社会に関する学習支援について検討会を行った。

平成21年度に、県が「岩手県多文化共生推進プラン」を策定したことから本事業は21年度で終了することとする。

- (4) **日本語サポーター**は、地域における日本語教室の開設を目的とした研修会を開催したことなどにより、登録者並びに活用件数が前年度より増えた。

また、日本語サポーターのブラッシュアップを図る機会として、実践者研修を開催した。

今後とも、日本語教室未開設の地域において研修会を開催し、日本語教室の立上げを支援するとともに、実践者の研修等によりサポーターの資質向上を図っていく必要がある。

- (5) **多言語サポーター**は、在住外国人の登録者の県外転出などもあり、登録者数が減少した。

また、外国人専門相談員や外国人相談補助員が対応するケースが増えたことから、活用件数も前年度より減少した。

研修について、学校における通訳等支援や医療支援など語学対応のことも含めた幅広い

内容で実施したが前年度より回数を減らしたことから、参加者数が減少した。

今後とも、必要な知識の習得、技術や能力向上のための研修を行い、登録者の確保・資質の向上に努めるとともに、医療・防災・教育など多様なニーズに対応した支援ができるように、充実を図っていく必要がある。

(6) 新たに県の委託事業として、在住外国人が県内で生活する上で必要な制度や相談窓口の情報を総合的にとりまとめた「外国人住民のための支援インフォメーションガイド」を日本語、英語、中国語の合冊で作成した。

(7) 私費外国人留学生支援は、受給者数は前年度と同じであったが、留学生を取り巻く環境の変化などにより、国際交流や県内就職支援の取組みへの参加などの活動実績は減った。

今後とも、留学生を通じた国際交流・異文化理解の推進、関係機関と連携しながらの留学生の県内就職の支援などに努める必要がある。

(8) 災害時における外国人支援のための市町村連携の研究は、災害時における通訳者の派遣など災害時の外国人支援のため、近隣市町村の連携の方策について検討会を開催した。

今後、災害時における対応を図れるよう防災訓練等への参加などを進めることとし、本事業は 21 年度で終了することとする。

(9) 在住外国人子育てサポート事業は、在住外国人が安心して子育てができる環境をつくるため、多言語子育てアドバイザーを配置し、多文化子育てサロンの開催や在住外国人のための子育て Q&A 集及び小児科問診会話集の作成を行った。

今後は、昨年度に作成したハンドブックと併せて情報提供を進めながら、相談対応を進めることとし、本事業は 21 年度で終了することとする。

## 6 国際交流センターの運営・管理

県から公募により委託を受け、本県の国際交流・協力の拠点である国際交流センターの運営・管理を行った。

インターネット利用者数が増加するなど、県民からの認知度も上がり国際交流センターとしての機能の活用が図られている。

今後とも、本県の国際交流・協力・多文化共生の拠点施設として、その機能を最大限発揮するよう、利用者のニーズに即したきめ細かな運営・管理などに努める必要がある。

## 7 協会設立 20 周年記念事業

平成元年 10 月の協会設立から 20 周年の節目を迎えたことから、一層の飛躍を期するために、記念式典、記念講演、交流会を開催した。また、協会設立以来の 20 年の歩みを収録した記念誌を発行した。